



プロフィール

1965年(昭和40年)、広島県福山市生まれ。1989年(平成元年)駒沢大学卒業後、商社に入社。その後、海外ブランド輸入会社を設立。1994年(平成6年)SPAに転換しサマンサタバサジャパンリミテッド設立。有名セレブをモデルやデザイナーとして起用するなどして急成長。2005年(平成17年)に東証マザーズ上場。

福山市には、一流の事業家が育つプラットフォームがある。そして精神がありますね。

福山市は大好きですね。起業して、がんばっていくという僕のスピリッツが作られた場所なので。父が会社を経営していたので、周りの人はみんな社長。所作に憧れがありましたし、影響を受けました。

東京から戻ると、福山市は社会として一流のものがそろうているのですが完結していると感じます。確かにビジネスとして颯爽としている人もいらっしやいます。そういう一流の事業家が育つプラットフォームもある。精神も。だからテーマやめざすものがあったらいい。もし福山市をプロデュースするならば、世界目線でやりたいですね。100年かけてでも、バリ・東京・福山といつてもらえるようなまちにする高い志を持つ

サマンサタバサ  
ジャパンリミテッド

# 寺田 和正

TERADA  
KAZUMASA



て。福山を世界ブランドシティにしたいですね。例えば、日本に行ったら、福山城へ行かないと、というくらいに。下駄を履いて備後緋などの着物を着た人がいて、写真が撮れたり、1日福山城主というのもおもしろいですよね。サマンサタバサについては、今後は老若男女から応援してもらえるブランドに成長していきたいです。一歩先の「愛を感じるブランド」に今よりなっていければと思っています。親子愛なども表現していきたいながら、愛を一つのテーマに世界をめざします。

世界をフィールドに活躍する2人の熱き思いをエールに。

# 島田 荘司

SHIMADA SOJI



福山市が、ミステリーのまちとしてイメージされたら。

ばらのまち福山ミステリー文学新人賞を創設したことで、福山市がミステリーのまちとしてイメージされたらと思っっています。もともと福山には井伏鱒二さんなど有名な文学者を多く輩出するなど、文学の素養があります。そこで知名度を上げるため、市の名前を冠した文学賞を立ち上げる提案をしました。私は新本格の作家を世に出した経験がありますから、そ

本格ミステリー  
小説の巨匠

うした実績が良い方向に作用する可能性があると思えました。地元では、駒の浦をフラフラするのが好きですね。福山市で自動車運転免許を取ったので、よくドライブをしました。家から駒まで14キロメートル。今でも運転するときその距離の感覚を体が覚えています。例えば、ドイツのアウトバーンを走っていても、駒へ行つたことを思い出します。福山市での思い出はいろいろ。バンドを組んだり、のど自慢に出たり、ラグビーで県大会に出場したり、自転車で行くところへ行くのも好きでした。これからさらに福山市の知名度を高めるために、新しいまつりを考えてはどうでしょうか。カメラマンが呼べるようままつりがいいですね。例えば、ホテルが乱舞する中、光る指輪をつけて踊りの輪をつくるとか。幻想的な雰囲気が出る、ビジュアル的に美しいものだと思います。



プロフィール

1948年(昭和23年)、広島県福山市生まれ。1981年(昭和56年)に『占星術殺人事件』でデビュー。以降、質量ともに本格ミステリーの第一人者といえる規模で作品を発表し、常に新しい挑戦を続ける柔軟な姿勢は多くの読者から支持されている。新本格ムーブメントの牽引者。現在、ロサンゼルス在住。